

■ 9月定例会の日程

3日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕 決算審査特別委員会
4日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
9日	経済委員会
10日	文教委員会
14日	決算審査特別委員会 議会運営委員会
15日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
17日	決算審査特別委員会
24日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、選挙管理委員及び補充員の選挙など〕

年度15件と採用件数も増えている。採用された提案内容には、蒲郡市をPRするオリジナルの郵便料金後納スタンプを作成する、焼却処分としていた庁内の廃棄文書を融解処理して資源化する、コンビニエンスストアへAEDを設置する等があった。

**問** 提案及び採用に対する褒章はどうなっているか。

**答** 1件提出すると5百円、2件を上限とするため1千円が限度額で、採用される最高A賞5万円、C賞が1件1万円、アイデア賞

が3千円となつている。

● 民生費

養護老人ホーム管理運営事業

**問** 入所者、職員、経費等

平成26年度の実績について。

**答** 平成26年度末の入所者数は男7名、女11名の計18名が入所、施設は指定管理者制度により不二福祉事業会に委託し、職員は施設長1名、事務員1名、相談員1名、栄養士1名、看護師1名、支援員7名の計12名、指定管理料は7388万4千円で契約を行っている。

**問** 指定管理とは違う形で民営化できないのか。

**答** 養護老人ホームは、介護保険における施設ではなく、居宅において生活することが困難な方を措置入所という形で受け入れるため、行政の介入が必要であるが、県内でも社会福祉法人が直営する施設もあるため、今後は違う方法も考えていきたい。

● 商工費

緊急雇用創出事業

**問** 事業の成果と事業の継続について伺う。

**答** 観光振興プロモーション事業は、4名を新規雇用し、SNSを活用し情報発信する企画を行った。体験講座等を実施し、観光振興に寄与できたと感じている。市の補助はなくなったが、受託企業で引き続き「蒲郡なび」というホームページで情報発信を行っている。子ども読書活動推進事業は、10名を新規雇用し、一人が2、3校を掛け持ちし、小中学校の図書館に少なくとも週1日、6時間訪問し、本の補修やおすすめ本のコ

ーナーの作成等を行った。司書教諭は学級担任等を兼務し、図書館業務を専任する状況ではないので、この事業の効果は大きいと考えている。平成27年度は市単独事業として学校図書館運営支援業務を委託している。

● 土木費

市制60周年記念市民花いっぱい運動事業

**問** 事業の内容は。

**答** 9月から11月にかけて、蒲郡南駅前広場に3千株の花苗を組み合わせて60周年の「60」や「GAMAGORI」の文字、竹島等が描かれた、縦3m×横7・5mの花看板を設置した。

市民の皆さんが主体となり、種まき、植え替え、花飾りに取り組んでいただき、飾った後の水やり、花摘みといった維持管理まで行っていた。事業の成果は。

**問** 事業の成果は。

**答** 市の緑化事業に関わりがなかった団体にも加わっていた。花看板が作成され、観光客や市民に安らぎを与えることができ、緑化意識の向上にもつながった。



蒲郡南駅前広場に設置された花看板

と考えている。  
● 教育費

全国大会選手派遣報償費

**問** 全国大会等への出場に対する激励金支給の基準はどのようになっているか。

**答** 国際大会では、オリンピック、世界選手権、アジア大会など、国内では国民体育大会、日本選手権などへの出場を対象としている。平成25年度までは国内外の激励金の支給としていたが、26年度からは国際大会